



第  
2530  
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 高 梨 哲 男  
幹事 高 橋 智 弘

奉仕プロジェクト  
委員会委員長 渡 辺 敬 藏

会報写真担当 梅 津 一 匡

令和5年4月10日(月) 第28回 通算第1656回例会  
令和5年4月22日(土) 第29回 通算第1657回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店内9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第28回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高 梨 哲 男会長
- ◇国歌斉唱・ロータリーソング「奉仕の理想」  
ソングリーダー 宮 崎 秀 剛会員
- ◇「四つのテスト」唱和  
職業奉仕委員会 宮 崎 秀 剛委員長
- ◇お客様並びにビジター紹介  
国際ロータリー第2530地区県北第一分区 ガバナー補佐 箭内一典様  
国際ロータリー第2530地区県北第一分区 分区幹事 高橋正見様  
国際ロータリー第2530地区県北第一分区 分区幹事 佐藤龍史様



4月誕生祝い

- \*今年度の誕生祝い記念品はワインです
- ・大内 裕子 会員 昭和35年4月2日生
- ・蔭 慧 豊 会員 昭和44年4月3日生
- ・梅津 一 匡 会員 昭和51年4月17日生

◇会長あいさつ 高 梨 哲 男会長  
この間、福島RC、福島南RCの創立記念例会、会長幹事会、また15日には二本松あだたらRCの30周年例会、一昨日は東北地区親睦野球大会、福島地区代表者会議など義務出席なスケジュールがかなりタイトで性格上なかなか素直に甘受することは難しく、奉仕なのか義務なのか判断しにくいもので、RCの真髓なるものに迫っているようなないような感覚とともに常に疲弊しながらこの10ヶ月を過ごし、会長任期はあとわずかですのでもいつも言い訳を考えながら今日まで来てしまいました。

私達の望むものは目の前にある様々な欲望ではなく未来にある全く見えない満足の度合によって異なる考え方の結果ではないでしょうか。いわゆる根幹にかかわる盤石な論点での議論をすべきで、元々奉仕に喧々囂々の議論は必要ではなく、超越した志と多様性をもった利他的な渴望に酔い痴れればよいのでは！

しかし終活の域に近づいたにも関わらず、まだ欲張りでエネルギーもチャットありどのように発散させればいいのか右往左往しているところです。

本日はガバナー補佐の最終訪問です。いつもの数値結果とやさしく分かりやすいお話と思います。

尊敬の念をこめて、お聞きください。

◇幹事報告 高 橋 智 弘幹事

- 例会変更のお知らせ
- ・福島RC13日(木)の例会は、ウェディングエルティにて観桜夜間例会となっております。
- ・当クラブ17日(月)の例会は22日(土)JRA福島競馬場職場訪問例会に変更となります。入場券につきましては、事務局より後日発送いたします。入場券にて入場後、2階16番柱付近にある来賓受付にてお名前をお申し出いただき、6階来賓室へお越しください。
- その他のお知らせ

- ・4月15日(土)二本松あだたらロータリークラブ創立30周年記念式典が開催されます。当クラブより高梨会長、高橋幹事が出席されます。
- ・4月ロータリーレートは1ドル133円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

- ◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 渡 辺 敬 藏 会員
  - 高橋正見分区幹事=1年間お世話になりました。
  - 高梨哲男会長=ガバナー補佐ご苦労様です！
  - 久米允彦会員=一昨日の野球同好会の打ち合わせには、会長・幹事にご足労をお掛けしました。おかげさまで県内クラブチームの意見がまとまりました。
  - 宮崎秀剛会員=本日もよろしくお願ひします。
- ガバナー補佐来会スピーチによせて—————
- 箭内一典ガバナー補佐 ○佐藤龍史分区幹事
  - 朝倉久仁 会員 ○石川淳一 会員 ○梅津一匡 会員
  - 大平謹一郎 会員 ○黒澤信之 会員 ○齋藤武二 会員
  - 佐藤卓立 会員 ○佐藤宗弘 会員 ○佐藤慶行 会員
  - 高橋智弘 幹事 ○寺島英樹 会員 ○野尻榮一 会員
  - 渡辺敬藏 会員

本日のスマイリングBOX集計19件 41,000円  
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇会報・雑誌・広報・IT小委員会

「友」4月号紹介 梅津 一 匡 会員

◇本日のプログラム 第5回ガバナー補佐訪問

国際ロータリー第2530地区県北第一分区 ガバナー補佐 箭内一典様  
福島ロータリークラブの例会場の入口ドアのところに「入りて学び、出でて奉仕せよ」の掲示幕が下げられています。私は会場に入る時、この幕を目にすると背筋が伸びる思いがします。また、この標語が好きだというロータリアンも数多いと思います。

ご存じの方も多いと思いますが、この言葉は1947-48年RI会長のケンドリック・ガンシーさんの会長年度のテーマでした。英語ではEnter to learn, go forth to serve.です。(図1)

私なりの解釈では「1人1業種で選ばれた会員が、例会では親睦を深め、お互いに研鑽し、奉仕の理念を学び、そして会場を出たら、職場・業界・地域社会で学んだ『奉仕の心』の実践をしなさい」というメッセージだと思っています。

その後、この言葉は世界のガバナーエレクトが一堂に集い、学習する国際協議会会場の入り口に1949年から2013年まで64年間、掲げられていたそうです。しかし、その後2014年からは「Join Readers, Exchange ideas, Take action」に書き換えられ、昨年までの9年間この言葉が掲げられていたようですが、2月に行われた右近八郎ガバナーエレクトの国際協議会報告では、今年のオークランドの会場入り口には、ただ「Welcome to the international assembly」と書いてあるメッセージ性の無い垂れ幕がかかっていたと、右近ガバナーエレクトは仰っておりました。国際ロータリーが「職業奉仕の理念」から遠ざかって行くと感じるのは、私だけでしょうか？

さて、今年度もあと3カ月を切り、佐藤正道ガバナー事務所より、各クラブがロータリー賞を獲得できるよう支援するように通達が来ております。

ロータリー賞は、各年度に優れた取り組みを行ったクラブを表彰

するものです。

ロータリー賞の目標に向けた取り組みは、クラブで会員の参加を促し、奉仕活動を活発化し、また効率的に運営するための一助となると期待されます。

クラブ会長は、ロータリー賞の達成を目指して、ロータリークラブ・セントラルにある25の目標のうち、クラブにとって最も重要で達成可能と思われる目標を少なくとも13の目標を選びます。(図2) さらに、目標の多くはロータリークラブ・セントラル内で「達成」に印をつける自己報告方式となります。

ただし、会員数や財団への寄付額は自動的に集計された数字が表示されます。過半数の13以上の達成がロータリー賞の条件です。昨年度の県北第一分区分は全クラブロータリー賞を獲得しております。

現在、ロータリー賞獲得の条件の13項目を達成しているクラブは、二本松ロータリークラブ、福島西ロータリークラブ、二本松あだたらロータリークラブの3クラブです。福島中央はまだ3項目のようです。さて、まず初めに、県北第一分区分の会員数ですが、年度初めの7月1日の会員数に比べ、4月4日現在で、357名と14名増となりました。

御覧の通り、福島RCさんが4名増の99名、二本松RCさん1名増の40名、福島南RCさんが1名増の66名、福島西RCさんが1名増の25名、福島中央RCさんが1名増の48名、二本松あだたらRCさんが1名の36名、福島21RCさんが4名増の42名となっております。(図3)

2530地区全体を見ると、今度初めの2,165名から4月4日時点では2,217名に増えており、52名の純増となっています。現在のところ昨年同時期に比べかなり良い増加数となっています。大幅増強となっているクラブを上げますと、富岡RCが13名増加で38名が51名に、本宮RCが8名増で34名が42名に、いわき平東RCが8名増で38名から46名に、会津若松南RCが5名増で14名が19名に、喜多方RCが5名増で43名が48名に、浪江RCが5名増で42名が47名に、また原町RCが5名増で21名から26名に、それぞれ増加しております。

ロータリー財団の寄付額状況です。ご存じのように、地区目標は年次寄付1人あたり150ドル、ポリオ30ドル、ベネファクター恒久基金1,000ドル寄付1名です。福島RCが年次寄付1人当たり241ドル、ポリオ41ドル、ベネファクター1名で、3項目の地区目標をすべて達成しています。福島西RCが年次基金とポリオ寄付の2項目をクリアしています、地区全体の平均は、年次基金58ドル、ポリオ15ドルで2月末の集計では全国34地区中31位と下位に低迷しています。

次は米山奨学金寄付額です。地区目標は今年度も普通寄付1人当たり5,000円、特別寄付10,000円ですが、県北第一分区分の全クラブが普通寄付は5,000円をクリアしています。特別寄付の1人あたり10,000円を達成しているのは、福島ロータリークラブの1人あたり12,663円と、福島中央ロータリーの10,851円の2クラブです。また、2530地区の普通・特別寄付合計額の一人当たり寄付金額は、2月末集計では約9,500円で全国34地区中24位となっています。

さて、今年度の県北第一分区分の事業ですが、全部で10の分区分事業を各クラブにホストをお願いして、実施を予定していました。しかし、

1番目の福島中央RCにホストをお願いしていたガバナー歓迎晩さん会が、県内の新型コロナ患者発生数が8月のお盆過ぎになっても、1日1,000人~3,000人で推移している状況を鑑み、中止といたしました。また、5番目の新世代会議は福島西RCさんがホストでしたが、参加者の高校生間にコロナ感染が生じた場合、大切な時期の学業等に支障出るということで、中止に致しております。それ以外の6つの事業は、各クラブのご尽力で、予定どおり実施されました。また、分区分事業ではありませんが、1月4日には、福島西ロータリークラブがホストクラブで、8クラブ合同新年会が開催されました。飯坂ロータリークラブのメイクアップもあり、総勢220名で2年ぶりに盛大に行われました。

まだ実施していない事業は、福島中央RCがホストで、4月22日(土)実施予定の「あれこれなんでも相談会」、次の日4月23日(日)の福島南RCにホストをお願いしている、「県北第一分区分親善ゴルフ大会」の2つですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

図1



図2

クラブセントラル	目標設定項目	ロータリー賞は13以上達成
1 会員増強	14 奉仕プロジェクト	
2 奉仕活動への参加達成	15 ローターアクトクラブ	
3 新会員の推薦	16 インターアクトクラブ	
4 ローター行動グループへの参加	17 来訪する青少年交換学生	
5 リーダーシップ養成への参加達成	18 派遣する青少年交換学生	
6 地区大会への出席	19 RYLA参加者	
7 ローター経験活動グループへの参加	20 クラブ戦略計画	
8 地区研修への参加	21 インターネット上の存在感	
9 年次基金への寄付	22 親睦のための活動	
10 ポリオオラス基金への寄付	23 ウェブサイトとソーシャルメディアの更新	
11 大口寄付	24 クラブのプロジェクトのメディア掲載	
12 選贈者の会員	25 ローター作成の公式推進用資料の使用	
13 ベネファクター		

会員の増強と参加促進    ロータリー財団への寄付    奉仕    若いリーダー    公共イメージ

図3

クラブ名	2021/7/1	2022/7/1	2023/4/4	比較増減
福島ロータリークラブ	94	95	99	4
二本松ロータリークラブ	37	39	40	1
福島南ロータリークラブ	70	65	66	1
福島西ロータリークラブ	23	24	25	1
福島中央ロータリークラブ	50	47	48	1
二本松あだたらロータリークラブ	35	35	37	2
福島21ロータリークラブ	41	38	42	4
合計	350	343	357	14

◇閉会点鐘

高 梨 哲 男会長

※会報カメラ担当

梅 津 一 匡会員

## 第29回例会 点鐘12:30

場所 JRA福島競馬場 6F来賓室

◇開会点鐘 高 梨 哲 男会長

◇お客様並びにビジター紹介

朝倉久仁男会員 令夫人 朝 倉 友 子様  
 大平謹一郎会員 令夫人 大 平 のり子様  
 梅津一匡会員 ゲスト 大 竹 直 人様  
 佐藤慶行会員 ゲスト 大 沼 純様

◇幹事報告 高 橋 智 弘幹事

○例会変更のお知らせ

・当クラブ24日(月)の例会は休会となっております。また、5

月1日(月)の例会も祝日のため休会です。

○その他のお知らせ

- ・明日23日(日)県北第一分区分親善ゴルフ大会が開催されます。当クラブより朝倉久仁男会員、大平謹一郎会員、佐藤卓立会員、高橋達也会員、西形健吉会員、黒澤信之会員、佐藤宗弘会員、高梨哲男会長が参加されます。
- ・また、明日23日(日)米山記念奨学生カウンセラーオリエンテーションが開催されます。当クラブより高橋智弘幹事が出席いたします。
- ・4月ロータリーレートは1ドル133円となっておりますのでお知らせいたします。

◇閉会点鐘

高 梨 哲 男会長

※会報カメラ担当

梅 津 一 匡会員

